



2020年3月25日

各位

会社名 株式会社鉄人化計画
代表者名 代表取締役社長 岡崎太輔
(証券コード2404 東証第二部)
問合せ先 総務法務GM 高橋有理可
TEL 03-3793-5111

株式会社直久の株式の取得（子会社化）及び 当該子会社による事業譲受に関するお知らせ

当社は、2020年3月25日開催の取締役会にて、2020年4月1日付にて、株式会社フククルフーズより株式会社直久の全株式を取得のうえ当社子会社とし、かつ同日付にて、株式会社フククルフーズのラーメン事業を株式会社直久にて譲受することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式会社直久の全株式取得及び株式会社フククルフーズのラーメン事業譲受の理由

当社グループは、2019年より、当社事業とのシナジーを見込める業態の店舗または企業とのコラボレーション、またはM&Aを積極的に進めることにより、事業の規模と範囲の拡大を図っております。

他方、株式会社フククルフーズの運営するラーメン「直久」ブランドは、創業100年以上の歴史を持ち、現在、都内繁華街を中心に、東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県に約20店舗（フランチャイズ店舗を含みます）を展開しております。

このたび、「直久」ブランドのラーメン事業が、その長い歴史や高い知名度に加え、店舗の展開地域や顧客層を含む多数の点に於いて当社「カラオケの鉄人」事業とのシナジー効果等も見込めるものであると考えられたこと、および、株式会社直久が、1967年の設立から「直久」ブランドそのものを社名に冠しており、現在も株式会社フククルフーズの子会社として同社のラーメン事業の一部を担っていること等から、株式会社直久を当社の連結子会社とし、ラーメン事業を譲受するものであります。

なお、上記の株式会社直久によるラーメン事業の譲受と同日付にて、当社は、当社連結子会社の株式会社TFSをして、株式会社フククルフーズより同社の居酒屋事業を譲受し、且つ、当該譲受後直ちに、当該居酒屋事業を第三者（当該第三者と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係はありません）へ譲渡する取り組みを実施致します。当該取り組みにつきましては、東京証券取引所適時開示規則の軽微基準に該当しております。

2. 異動する子会社・本件事業の譲受会社（株式会社直久）の概要（2020年3月1日現在）

(1) 名称	株式会社直久		
(2) 所在地	東京都中央区銀座三丁目12番7号 ※本件譲受に伴い「東京都目黒区東山三丁目8番1号」に移転予定です。		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 橋本朋郁 ※本件譲受に伴い「岡崎 太輔」に変更予定です。		
(4) 事業内容	飲食事業		
(5) 資本金	40百万円 ※本件譲受に伴い「9百万円」に減資予定です。		
(6) 設立年月日	1967年10月18日		
(7) 大株主及び持株比率	株式会社フククルフーズ（100.0%）		
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありませんが、2020年4月1日付にて、当社の100%子会社となる予定です。	
	人的関係	該当事項はありませんが、2020年4月1日付にて、当社代表取締役社長 岡崎太輔が、取締役を兼任する予定です。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありませんが、2020年4月1日付にて当社の子会社となり、関連当事者に該当する予定です。	
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
純資産	7百万円	12百万円	8百万円
総資産	31百万円	37百万円	35百万円
1株当たり純資産	390円	460円	435円
売上高	117百万円	115百万円	73百万円
営業利益	2百万円	4百万円	▲3百万円
経常利益	2百万円	4百万円	▲3百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2百万円	4百万円	▲4百万円
1株当たり当期純利益	26円	53円	▲46円
1株当たり配当金	—	—	—

3. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個)
---------------	------------------

	(議決権所有割合：0.0%)
(2) 取得株式数	80,000 株 (議決権の数：80,000 個)
(3) 取得価額	事業譲受価額に含まれており、峻別が困難なため、非開示とさせていただきます。
(4) 異動後の所有株式数	80,000 株 (議決権の数：80,000 個) (議決権所有割合：100.0%)

4. 事業譲受の概要

(1) 譲受事業の内容

株式会社フククルフーズの運営するラーメン事業を譲り受けます。

(2) 譲受事業の経営成績

決算期	2019年3月期
売上高	834,321 千円
売上総利益	557,474 千円
営業利益	34,132 千円
経常利益	株式会社フククルフーズが複数の事業を運営しており、ラーメン事業のみに係る経常利益の算定が困難なため、非開示とさせていただきます。

(3) 譲受事業の資産、負債の項目及び金額 (2020年3月31日時点の想定値)

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	9,679 千円	流動負債	9,953 千円
固定資産	157,949 千円	固定負債	15,000 千円
合計	167,630 千円	合計	24,953 千円

※実際に譲受する資産及び負債の金額は、上記金額に譲受日までの増減を調整したうえで確定いたします。

(4) 取得(譲受)する固定資産の主な内容 (2020年3月31日時点の想定値)

資産の名称及び所在地	帳簿価額 (円)
店舗5店舗 (都内4店舗、神奈川県1店舗)	
建物	13,762 千円
建物付属設備	8,192 千円
建築物	333 千円
工具器具備品	3,823 千円
リース資産	9,215 千円
敷金 (工場含む)	83,492 千円

保証金	20,957 千円
工場 1 箇所（都内 1 箇所）	
建物	2,151 千円
建物付属設備	3,032 千円
構築物	390 千円
機械装置	5,496 千円
車両運搬具	2,308 千円
工具器具備品（その他含む）	1,837 千円
無形固定資産（全事業）	2,961 千円

（５）譲受価額

当社及び第三者機関の算定結果を踏まえた上で相手方との交渉（なお、ラーメン事業と居酒屋事業一括での当社グループへの譲渡が必須条件）により決定しましたが、金額については、契約上の守秘義務に基づく相手方の強い希望により、開示を控えさせていただきます。

５．株式会社直久の全株式およびラーメン事業を当社に譲渡する会社の概要

（１）名称	株式会社フククルフーズ	
（２）所在地	福岡県福岡市早良区小田部二丁目 8 番 16 号	
（３）代表者の役職・氏名	代表取締役社長 橋本朋郁	
（４）事業内容	飲食事業	
（５）資本金	50 百万円	
（６）設立年月日	2000 年 5 月 1 日	
（７）純資産	▲531 百万円	
（８）総資産	591 百万円	
（９）大株主及び持株比率	橋本朋郁：100%	
（10）上場会社と 当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。

６．日程

- （１）当社取締役会決議日 2020 年 3 月 25 日
- （２）株式会社直久の当社完全子会社化予定日 2020 年 4 月 1 日
- （３）株式会社直久での事業譲受予定日 2020 年 4 月 1 日

７．会計処理の概要

負ののれんが発生する見込みですが、金額・償却期間等につき現在精査中のため、確定次

第お知らせいたします。

8. 今後の見通し

本件が当社の業績に与える影響は、現在精査中であり、今後、業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上

(参考) 当期連結業績予想 (2019年11月11日公表分) 及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2020年8月期)	8,042 百万円	214 百万円	180 百万円	168 百万円
前期連結実績 (2019年8月期)	7,165 百万円	203 百万円	160 百万円	168 百万円